

自分で判断していますか？

先日、美術作品を觀に、枚方市にある天門美術館へ行ってきました。
特別展(平成 25 年 4 月 10 日から 4 月 29 日まで)が開催中で、通常展示されている力強い彫刻作品の他にも、いろいろな作家の絵画が展示されています。
館長さんとお話した内容がたいへん印象的でしたので、以下にご紹介します。

芸術の世界もビジネスだそうです。

個人が趣味で気に入った作品を買うのは 30 万円までで、それ以上の高額になると、画商は美術名鑑に載っているものを勧めようになります。「後に売れないものを買ってははいけません。」と。

そして、画商の言うとおりに、顧客が買います。

一方で、顧客は、人気作家の作品を画商に求めます。

だから、画商はその要求に応えようとします。ここでいう「人気」というのは、流行と同義です。先日のフェルメールのように。

ということは、**既存作品の持ち主が変わるときにビジネスになります**。そんなことばかりですと、新しい作品が世に出る機会がありません。

また、**売買金額は美術名鑑に載っている金額にしたがいます**。本当の価値はいくらだろうか？と考えることはありません。ある人(グループ)がこの作品の値段はこれ、と決めてしまえる状況にあるということです。

考えさせられました。

この頃は、時間に追われ、物事をじっくり考える機会が少なくなっているように思います。